

報 告 書

(委 員 会 名) 議会運営委員会

(視 察 日) 令和 5 年 1 0 月 2 7 日 (金)

(視 察 先 都 市 名) 滋賀県長浜市

(視 察 項 目) タブレット端末等の導入について

(内 容) 報告者 山本 武志

1. 目 的

敦賀市議会の議会改革の一環として議会運営委員会にて検討を進めている「タブレット端末等の導入」について、滋賀県長浜市議会の先進事例等を調査し、今後の検討に資することを目的とする。

2. 内 容

長浜市議会においては、議会改革の取り組みの一つとして、議会運営委員会内に「ICT化推進検討チーム」を設置（平成28年2月）。以降、検討を重ねつつ、理事者との合意形成のもと、令和2年3月定例会からタブレット運用を本格開始している。

以下、長浜市からの説明内容は項目のみ掲載（詳細は別資料を参照）とし、主な質疑を中心に報告する。

【長浜市議会からの説明項目】・・・事前送付の質問事項に対応する形で説明あり

- (1) 導入目的
- (2) 導入プロセス
- (3) 機器・システム（ソフトやアプリ）選定
- (4) 運用基準の作成
- (5) オンライン会議（委員会） ※実施している場合
- (6) 導入後の対応、メリット・デメリット
- (7) 取り組みの概要や実践・仕組みの特徴

【主な質疑】

Q：議場にタブレット以外の電子機器持ち込みを可としているが理由は。

A：SIDEBOOKS（ソフト）でも2画面表示が可能だが、見づらいつとの意見があり、複数持ち込みを可としている。

Q：端末をI-Padに決めた理由は。

A：ICT検討チームの視察にて、神奈川県逗子（I-Pad）と愛知県安城市（Android）を調査した結果、使い勝手の良さで決めた。

Q：SIDEBOOKSの決め手は何か。

A：当時の主流出会ったこともあるが、一番は汎用性。ユーザーからの要望に応え日々改善されている。但し、PDFしか使えない。

Q：通信量負担の考え方は。

A：端末レンタル料の1/2（月2,400円）は議員個人負担。個人分は議員報酬から差し引いている。

Q：閲覧制限などの使用制限は設けているのか。

A：ドコモ側でi-フィルター（金融など）は掛かっているが、基本的に自由に利用してもらうことに主眼を置いている。

Q：通信量の利用制限はあるのか。

A：基本5ギガだが、これまで超過したケースはない。また、超過した際もシェアパック（使っていない人の分をシェア）にて対応できる。

Q：傍聴者への対応は。

A：傍聴席には資料を配布している。議場傍聴者用にモニターがあるが、今後大型化と音響設備の更新を予定している（予算6,000万円）。なお、聴覚障害者のため、傍聴席に文字化システムを導入しており好評を得ている。

Q：アプリインストールの制限は。

A：特に設けていない。タブレットは、あくまでも議会の備品であり、個人のものではないとの認識をしっかりとって管理してもらっている。議員の倫理に基づく。

Q：ランニングコスト含めて、コスト削減につながっているのか。

A：そこまで把握していないが、議会予算としては圧縮されている。その辺りの検証はやっていかないとはいけない。

Q：議会事務局職員の負担軽減につながっているのか。

A：これまでFAXや電話にて連絡していたものがLINE Worksでの連絡となり、大変効率化している。

Q：タブレットが故障した場合の費用負担は。

A：基本的には公費にて対応。但し、apple ペンシルは個人負担。余談だが、apple ペンシルに加え、マジックキーボードも入れた方が良い。

Q：SIDEBOOKS は、電子申請にも使っているのか。

A：視察申請などに関しては、SIDEBOOKS での電子申請を可としている。

Q：一般質問通告にも使っているのか。

A：SIDEBOOKS、LINE Works とともに可能。

Q：タブレット導入に伴い、議案書（予算概要書含む）の様式変更はされたか。

A：行っていない。

3. 考 察

- ・使用端末においては、I-Pad（12.9 インチ）が主流であることが、この視察でも分かった。
- ・ソフトに関しては、SIDEBOOKS を採用していたが、PDF しか使えないデメリットがあるため、MORE NOTE との機能比較が必要。
- ・アプリのインストールを始め、運用基準に関しては、ある程度自由度を利かせつつ、説明のあったよう「議員の倫理」を認識し、利用にあたることが重要である。
- ・連絡ツールに関しては、敦賀市議会では既に「サイボウズ」を使用しており、慣れてきていることから、大きなメリットがない限り、LINE Works などへの切り替えは特段と考える。
- ・理事者はサーフェイス（microsoft 社）を利用しているが、特段支障はないとのことであった。
- ・議員の利便性のみならず、傍聴者への配慮を含めた設備更新を行っており、議会改革の視点として必要なことと感じた。

4. 感 想

これまで調査してきた福井県坂井市議会、越前市議会の状況に加え、長浜市議会の状況を伺うことで、機器選定やソフトなどを選定するうえで必要なデータは整ったと考える。早期のタブレット導入を目指して、以降の検討につなげることにしたい。

以 上

* 1 市（県・町・村・施設）ごとに、1 枚作成（2 ページにわたっても可）

* 視察先ごとに、考察・感想を加えてください。